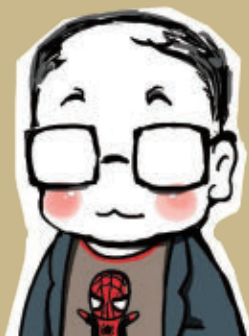


おしぐちたかしコレクションから見る海外マンガ展

おしぐちたかし氏は、戦後日本において海外マンガの存在感が希薄化した時代、書店員、編集者、マンガ評論家といった多角的な立場でマンガとかかわり、すべての立場から海外マンガを紹介し続けてきました。本展示では、アメリカ、フランス、台湾、香港などの貴重なマンガ・資料・グッズ・原画などのおしぐち氏のコレクションを通して、日本における海外マンガの受容について考えます。また、これまであまり注目されることのなかった、氏の果たしてきた役割の重要性にも焦点をあてます。



おしぐちたかしプロフィール

マンガ評論家、編集者。1955年生まれ。福岡県出身。地元の大学を卒業後、神戸にて就職。神戸で書店主催のマンガサークルと出会い、マンガ関係の人脈を拓き、書店に転職。書店の東京進出のため上京。神戸時代の人脈を活かしたマンガの販促イベントを企画した店舗運営が注目される。1984年、マンガ専門書店「まんがの森」の設立にかかわり、各店舗の店長を歴任。90年代初頭からアメリカンコミックスをはじめとする海外マンガの輸入販売を積極的におこない、現在につながる海外マンガ紹介の流れのひとつを築いた。2007年、同店を離れ、以降は編集者、評論家、ライターとして活躍。

展示期間

会期を2期に分け展示替えをします。



◀ **前期** 2019年11月15日(金)

▶ 2019年12月9日(月)

ビル・シンケビッチなど
90年代ペイント系作家を中心に



2019年12月13日(金) ▶ **後期**

▶ 2020年1月27日(月)

マイク・ミニョーラ
「ヘルボーイ」を中心に



2階閲覧室にて展示関連書籍を読むことが出来ます。

関連トークイベント

トークイベント当日12:00より
米沢嘉博記念図書館1階にて
整理券を配布いたします。詳しくは館HPをご覧ください。

1990年代、海外マンガ紹介における『まんがの森』おしぐち氏の役割

[出演] 多田涼士(デザイナー)、小田切博(ライター)

[日時] 2019年12月7日(土)16:00-17:30

[場所] 米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室

※会員登録料金(1日会員330円〜)が別途必要です。

入場無料

1980年代から90年代の若者文化におけるマンガと海外(仮題)

[出演] おしぐちたかし(マンガ評論家、編集者)

夏目房之介(マンガ・コラムニスト)

[聞き手] 椎名ゆかり(本展企画・協力者、海外マンガ翻訳者)

[日時] 2020年1月18日(土)16:00-17:30

[場所] 明治大学リハビリタワー 8階1083教室

入場無料

明治大学 米沢嘉博記念図書館

ギャラリートーク ▶ 16:30-17:00

2019年11月30日(土) 2019年12月14日(土) 2020年1月11日(土)

[場所] 米沢嘉博記念図書館 1階展示室

[内容] 展示担当者・椎名ゆかり(海外マンガ翻訳者)、

小田切博(ライター)が展示のみどころをご案内します。

全3回



ギャラリートークに参加して下さった方には、トークイベントの整理券を先行してお渡しすることができます。

〒101-8301
東京都千代田区神田猿樂町1-7-1
TEL:03-3296-4554

アクセス

JRお茶の水駅より徒歩7分
水道橋駅より徒歩8分
地下鉄・神保町駅より徒歩8分

公式ホームページ

https://www.meiji.ac.jp/manga/yonozawa_lib/

